


公園事務所企画調整担当の業務

業務内容	業務実績	市民協働の実績	目標・今後の展開	備考
公園清掃・美化活動の市民ボランティア活動（公園愛護会活動）のサポート	<p>全公園愛護会を月1回訪問 業者委託している清掃（公園トイレ清掃含む）、除草に関する日程表等の情報提供 交付金制度改正等の説明 緑化普及広報紙配布 公園美化活動の地域展開の調整 愛護会からの要望・苦情について、対応の是非含めた公園事務所との連絡調整 公園愛護会との顔の見える関係づくり</p>	<p>・公園愛護会と学校園との連携による地域ふれあい清掃実施（H24年度 不定期含めると年間100ヶ所以上）→世代間交流を促進 ・刈払い機の安全講習の実施と安全な刈払い機を使用した除草作業の啓発（H24年度90回） →公園維持管理の除草にかかる苦情減少</p>	<p>・地域の公園は地域が管理していくことをめざし、市民ボランティアによる公園愛護会活動が清掃、除草、低木の刈り込みまで取組めるよう、啓発及び調整業務を進める。併せて学校園だけでなく日常的に公園を利用する企業とも連携して、ボランティア活動のすそ野を広げていく。</p>	<p>公園愛護会は住区基幹公園を中心に869公園で結成（H25年3月末現在 約90%の結成率） 月1回以上の清掃活動を実施することにより本市は公園面積に応じて交付金（年間60000円～85000円）を支給。（H24末合計4924万支出） 活動実績を業者委託費用に置き換えると約2億6500万となる。 （1㎡あたり委託単価2.1円）</p>
	<p>公園内ふれあい花壇の普及 企画調整班が公園愛護会活動のサポート業務を開始して以降、H24末で199ヶ所</p>	<p>ふれあい花壇面積は平均約20㎡ 20㎡×199ヶ所＝4000㎡の市民ボランティアが自主管理する花壇が増加（緑化の量的拡大）</p>	<p>年間通して、花と緑のまちづくりに寄与するふれあい花壇事業は、一方で勝手花壇の解消（要綱に基づく公園の占用）にも効果をもたらしており、引き続き事業拡大に向けて愛護会等との連携を図る。</p>	<p>＜ふれあい花壇＞</p> 
	<p>公園遊具・施設の安全利用講習会の実施 H24末で58回</p>	<p>公園愛護会員による公園利用者（子どもたち）への見守り意識が向上→事故の未然防止</p>	<p>行政による安全点検だけでなく地域ぐるみの取組みが、事故防止に大きく役立つことから、引き続き取組みを進めていく。</p>	<p>花壇作りにも力が入ります（西淀川区 中島公園） 地元の保育園児も一緒に（北区 豊崎南公園）</p>



←愛護会対象の刈払い機安全講習会



←公園愛護会の皆さんを対象に、公園遊具の安全な利用講習会を開催（西成区 北天下茶屋公園）



玉造小学校と近隣の5つの公園愛護会が一緒に清掃活動



清掃後、公園遊具の安全な利用講習会を開催

＜地域ふれあい清掃＞

公園事務所企画調整担当の業務

業務内容	業務実績	市民協働の実績	目標・今後の展開
	各区の意向をふまえた緑化ボランティアの育成 (区と公園事務所が連携してH24年度より実施)	区が主催する緑化ボランティア育成講座にGCが講師(8区で)	各区における花と緑のまちづくりの取組みは、区ごとに進め方含め違いがあるが、24区でGCが講師となって緑化ボランティア育成事業が取組めるよう、区とGCの連携を深める
	種から育てる地域の花づくり事業(種花事業) H23年度末で全区で実施、栽培指導(平均値)24×12=288回 24区での出荷株数 40万株	種花事業で育成した花苗を各区の公共施設に植え付けた箇所数(平均値) 24×60=1440ヶ所(年)	人件費を含まないため1株当たりの単価はホームセンター等より安い。 播種、育苗、運搬、飾り付け、維持管理をボランティアを中心に実施しており、今後も継続して取組む。
緑化普及市民ボランティア(グリーンコーディネーター(GC)、緑化リーダー(GL))のサポート	<ul style="list-style-type: none"> 緑化講習会の開催(総数:487回) 参加人数 約21,800人 緑化普及推進車「ひふみ」号を使用した市内公園での緑化講習会 H24年度 55回実施 参加人数 約1300人 GC、GLによる緑化講習会等の自主開催に向けた事前講習会、技術支援 H24年度 200回実施。 	<ul style="list-style-type: none"> GC、GLを中心とした緑化講習会の開催 H24年度 340回 ひふみ号を使用した緑化講習会でGC、GLが講師となったもの H24年度 33回実施 参加人数 約800人 	区が主催する緑化講習会は200人前後が参加する大規模なものが多いが、今後は公園愛護会をはじめとした地域団体が地域緑化推進のために開催する講習会を増やすよう調整を図る。その際にGCが講師を務めることができるよう、併せて調整していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 区役所における緑化講習会 年間24×12=288回実施 相談件数 約4600件 ローズツアー、はならんまん等のイベント開催時の緑化相談 44回 相談件数 約400件 	イベント時の緑化相談はほぼ緑化ボランティアが中心。	緑化相談は広範な知識が求められるため、事前講習等を行い、区役所での緑化相談会はGC、GLを中心に職員はサポートにまわる。相談当日の職員の関わりは現行2名体制から1名体制にしていく。
地域・学校園と連携した環境施策の技術支援 (みどりのカーテン・カーペット事業の技術支援、ソウ糞堆肥・サバンナ堆肥等を活用した緑のリサイクルの啓発及び技術支援、ピオトープの技術支援等)	企画調整班が橋渡しして緑化ボランティアと園児、公園愛護会や町会組織と児童との世代間交流が実現。 身近なヒートアイランド対策としてみどりのカーテン・カーペットが普及。	動物園と調整しながら、ソウ糞堆肥やサバンナ堆肥を使ったサツマイモを育て、収穫したサツマイモをソウに給餌する「リサイクルの輪」を1区1園で展開し、市内の保育所・幼稚園と環境施策をテーマに連携を深めていく。 また、みどりが環境保全に果たす役割をわかりやすく啓発していく。	

<グリーンコーディネーター育成事業> <区役所主催緑化講習会>



みんなでデザインした花壇を実際に造成



淀川区民ホールでのクリスマスの寄せ植え講習。

<種花事業>



花づくり広場で播種作業(平野区花づくり広場)

<事前講習会>

南方方面公園事務所が呼びかけたレベルアップ講習会。



<区役所での緑化相談>



都島区役所での花と緑の相談。

<緑のリサイクル>



天王寺動物園のソウ糞から作った堆肥を使った緑のカーペットづくり。西成区の保育所で実施。まず土づくりから

